

- 1、開会
- 2、校長あいさつ
- 3、会長あいさつ
- 4、協議
- 5、まとめ

① 「令和2年度学校経営計画」について

(校長) 3年後を見通して計画を立てている。教育活動の充実を図る。

- ・学校経営推進費が配当されることになった。電子黒板を各教室に設置することで ICT を活用した授業の充実を図りたい。
- ・教師に悩みを相談できる態勢を整えたい。
- ・歯みがき指導が定着してきたが、感染症対策で中止となった。
- ・スポーツ部活の対外試合が相次いで中止となっている。

教職員の定数は教頭と養護教諭を合わせて 50 名であるが、共生推進教室の教員 10 名 (千里青雲 5 名、北摂つばさ 5 名) が含まれている。平均年齢 38.7 歳と比較的若い教員が多い。

意見・質問

(会長) 初めて学校経営計画を見られた方もいると思う。毎年、校長が出し、中期目標は毎年見直す。支援学校の免許が必要となる。取得率は何パーセントか。

(教頭) 52%取得している。

(会長) 現職の先生は認定講習で取得できる。評価の取り組みは府教委で査定を受ける。今までの取り組みをもとに推進費がおりたのではないか。

② 授業アンケートについて

(教頭) 保護者の意見が少ない。お仕事をお持ちの保護者も多いので、授業参観に来ていただく工夫が必要。

③ 使用教科書について教務主任より紹介

(委員) ビジネスマナー等、他の学校では学ばない分野もある。

④ 進路状況等

(進路指導主事) 昨年度卒業生 32 名のうち 29 名が就労、3 名が障がい者支援施設に決まった。就職率 91%も初めてで、卒業前にすべての生徒が決まったのも初めてである。本人と保護者の意見を合わせて早めに取り組めたことが要因と思われる。6月22日から実習が開

始できるようになった。今年度は解禁日が9月16日から10月16日と1ヶ月後ろだおしになったので生徒のスケジュール調整をする。最低賃金も今年は例年通りいかないのではと  
思っている。

(会長) 職場開拓がたいへんなのではないか。早くからの取り組みが大切である。

#### ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策について

(生徒指導主事) 5月の分散登校、6月前半の短縮授業の間、交通安全指導を含め、近辺交差点や校門前で立ち番を行う。また、校舎前で健康チェックを実施した。生徒にはマスク着用、アルコール消毒や手洗いを励行。HR教室の机の間隔をあげ、更衣室も一時期増やした。ソーシャルディスタンスを取ることも指導した。生徒下校後に、全教職員で校内の消毒を実施。6月15日以降も健康チェックは継続し、マスク着用、手洗い、歯磨き禁止等の感染症対策を実施している。

#### ⑥ オンライン授業

緊急事態に備えて各学校でオンライン授業ができるように態勢を整える。休業中は家庭とのやりとりを郵送で行った。清掃や食とみどり科、ダンス部が動画を作成し、YouTubeにあげた。第2波、第3波に備えて、考えていかなければならない。

#### ⑦ 意見交換・その他

(会長) オンライン授業ではコンテンツをしぼって、情報提供すると取り組みやすくなるのではないか。適切な量を考えるとよい。

(委員) 接客の業種でもコロナ禍の中ではお客様へのお声がけを控えている状況である。人生観から変わろうとしている時期である。経営計画もコロナ禍で達成が難しいと思われるものは見直すことも必要ではないか。

(校長) できないのではないかということもすでに出てきている。別の方法でと考えていることもある。

(委員) 生徒が自信を持つことが大事。自分の言葉で自分を語るができるように。それがなかなかできずにつっぱってしまうと会社とうまくいかない。3年間でしっかり育んで欲しい。

(委員) 実習で自信を持つことができた。つまづくことは悪くない。休業中は家で手伝いをしていた。家でも自信をつけていく。とりかいに来てから活動範囲が広がる。校外活動や少人数制で育まれる。

(会長) 3年間は活動のチャンス。失敗も含めて会得していく。

(校長) 貴重なご意見をいただいた。入学式では学校で失敗していいと伝えている。

#### ⑧ 本日のまとめと終わりのあいさつ

第2回は11月13日(金)を予定している。